

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	243	2年	後期	看護学科	必修	災害看護学Ⅰ Disaster Nursing I	15	1
担当教員								
宮宇地 秀代	入野 了士	馬越 健介*		山下 さつき*				
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	○ ③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	○ ④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	○ ⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
災害各期における看護活動について考えるために、講義や災害支援活動経験者の講話を通して、災害が地域や人々の健康と生活に及ぼす影響と災害各期に行われる支援活動の全体像を理解し、災害時に関わる専門職やボランティア等との連携・協働と看護職が修得すべき科学的根拠に基づいた基礎的知識を獲得する。								
到達目標（授業目標）								
①災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を説明できる。								
②個人の備えやボランティア活動のあり方を説明できる。								
③防災・減災の概念や災害における危機管理を説明できる。								
④災害および災害看護に関する基礎的知識を説明できる。								
⑤災害各期における看護活動を説明できる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	授業ガイダンス・災害看護に関する基礎的知識：災害および災害看護の基礎的知識について講義する。（宮宇地秀代、入野了士）							
2回	災害時の想定と防災行動：災害対応について、災害対応カード「クロスロード」を用いて演習を行う。（入野了士、宮宇地秀代）							
3回	災害医療概論：災害医療に関する基礎的知識について講義する。（馬越健介、宮宇地秀代、入野了士）							
4回	災害医療と体制：防災・減災の概念や国および愛媛県の災害における危機管理について講義する。（馬越健介、宮宇地秀代、入野了士）							

5回	災害サイクル：災害各期に必要な看護の知識と技術について講義する。（山下さつき、宮宇地秀代、入野了士）								
6回	災害医療活動：トリアージの基礎的知識や方法について講義及び演習をする。（山下さつき、宮宇地秀代、入野了士）								
7回	災害ボランティア概論：ボランティアの概念、基礎的知識について講義する。（教育協力者、宮宇地秀代、入野了士）								
8回	災害ボランティア活動：災害ボランティア活動の実際について講義する。（教育協力者、宮宇地秀代、入野了士）								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
授業への参加度・リアクションペーパー（40%）、筆記試験（60%）で評価し、60点以上を合格とする。									
教科書	酒井明子ほか編 ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践③災害看護(株式会社メディカ出版)								
参考図書等									
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
予習：教科書の該当頁を一読し、理解できない箇所を明確にする。									
復習：教科書、講義資料、関連図書などを用いて、学習した内容を振り返り、理解を深める。									
関連科目									
前科目									
後科目	244	災害看護学Ⅱ							
実務家教員									
医師（医療機関）	馬越 健介*								
看護師（医療機関）	宮宇地 秀代	山下 さつき*							
保健師（行政機関）	入野 了士								
備考									